



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 420  
初版 平成 7 年 3 月 22 日  
改訂 平成 20 年 7 月 1 日  
管理番号 : 158420-7

### Product Safety & Regulatory Affairs

#### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 158420  
製品名 : **Loctite 420**  
会社名 : ヘンケルジャパン株式会社  
住所 : 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲 14F  
電話番号 : 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)  
ファックス番号 : 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

#### 2. 危険有害性の要約

##### GHS 分類

引火性液体	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
皮膚感作性	区分 1
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 3(気道刺激性)

\*記載がないものは分類対象外または分類できない

##### GHS ラベル要素

###### 絵表示



###### 注意喚起語 危険

###### 危険有害性情報

可燃性液体  
皮膚刺激  
眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ

###### 使用上の注意

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
必要に応じて個人用保護具を使用すること。  
保護手袋及び保護眼鏡/保護面を着用すること。  
炎及び高温のものから遠ざけること。



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 420  
初版 平成 7 年 3 月 22 日  
改訂 平成 20 年 7 月 1 日  
管理番号：158420-7

### Product Safety & Regulatory Affairs

取り扱い後はよく洗うこと。  
粉じん/フューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入素避けること。  
換気が充分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

#### 応急処置

火災の場合： 適切な消火方法をとること。  
皮膚にかかった場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。  
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合医師の診断/手当てを受けること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。  
吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

#### 保管及び廃棄方法

容器を密閉して涼しいところ/換気の良い場所で保管すること。  
内容物/容器を地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

化学特性： 接着剤

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
エチルシアノアクリレート*	90 ~ 100

\* 労働安全衛生法通知対象物質



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 420

初版 平成 7 年 3 月 22 日

改訂 平成 20 年 7 月 1 日

管理番号：158420-7

## Product Safety & Regulatory Affairs

### 4. 応急処置

皮膚にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。

吸入した場合：空気の清浄な場所に移す。

異常がある場合は医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火方法：火元への燃焼元を絶ち、適切な保護具（耐火服、手袋、自呼吸式マスク）を着用し指定消火器を使用して風上から作業する。燃焼時に発生した蒸気は吸入しないようにする。

消火剤：炭酸ガス、泡、粉末又は、水噴霧

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：直ちに換気を行う。付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。少量の場合は、紙タオルやウエス等で拭き取る。

環境に対する注意事項：下水等に流れ出ないように流出防止を図る。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策：炎、火花、高温体、その他点火源となる恐れのある機械等の使用厳禁。保護具を着用し眼や皮膚に接触しないよう又、蒸気の吸入を避ける。

注意事項：局所排気装置下で取り扱う。

安全取扱注意事項：特になし。

保管 技術的対策：火気厳禁。

保管条件：火気、熱源から遠ざける。日光の直射を避け、通風のよいところに保管する。  
又、消防法に基づいて適切に保管する。

容器包装材料：現容器にて保管する。

### 8. 暴露防止及び保護措置

保護具：局所排気装置又は、呼吸保護具

保護手袋（ゴム又はプラスチック製）、安全眼鏡又は、ゴーグル。



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 420

初版 平成 7 年 3 月 22 日

改訂 平成 20 年 7 月 1 日

管理番号：158420-7

## Product Safety & Regulatory Affairs

### 9 . 物理的及び化学的性質

外観：	透明液体
臭い：	刺激臭
pH：	該当しない
融点/凝固点：	データ無し
沸点：	149 以上
引火点：	80 ~ 93.3 (Tag Closed Cup)
自然発火温度：	データ無し
燃焼又は爆発範囲：	データ無し
蒸気圧：	26.7Pa (0.2mmHg) 未満@26.7
蒸気密度：	データ無し
比重：	1.04
溶解性：	水に触れると重合する
オクタノール/水分配係数：	データ無し
分解温度：	データ無し

### 10 . 安定性及び反応性

安定性：	通常の使用においては安定。
特定条件下で生じる危険な反応：	水やアミンのような塩基性物質との接触、あるいは高温多湿、直射日光により発熱を伴う急速な重合反応を起こす。
危険有害な分解生成物：	データ無し

### 11 . 有害性情報

データ無し  
局所効果：長期または繰り返し接触により皮膚を刺激する恐れがある。

#### 原料情報

##### 皮膚腐食性/刺激性

エチルシアノアクリレート 区分 2

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

エチルシアノアクリレート 区分 2B

##### 呼吸器感受性又は皮膚感受性

エチルシアノアクリレート 皮膚感受性：区分 1



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 420  
初版 平成 7 年 3 月 22 日  
改訂 平成 20 年 7 月 1 日  
管理番号 : 158420-7

### Product Safety & Regulatory Affairs

標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

エチルシアノアクリレート 区分 3 (気道刺激性)

#### 1 2 . 環境影響情報

現時点でデータ無し

#### 1 3 . 廃棄上の注意

都道府県条例に基づき焼却するか、産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

#### 1 4 . 輸送上の注意

UN Number: 3334

IATA: Aviation regulated liquids, n.o.s (Cyanoacrylate ester)

IMO : 該当しない

Exceptions: (Not more than 500ml) Unrestricted

荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取扱う。

取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。

そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

#### 1 5 . 適用法令

消防法 : 第 4 類第 3 石油類

労安法 : 名称等を通知すべき有害物(エチルシアノアクリレート)

PRTR 法 : 該当しない

毒劇物法 : 該当しない



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 420  
初版 平成 7 年 3 月 22 日  
改訂 平成 20 年 7 月 1 日  
管理番号 : 158420-7

### Product Safety & Regulatory Affairs

#### 16. その他の情報

参考文献 :           ヘンケルジャパン 発行 MSDS 40026-6  
                          Henkel corp. 発行 MSDS 158420  
                          JIS Z 7250 : 2005

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社  
製品安全性及び規制業務担当  
横浜市磯子区新磯子町 27-7  
Tel:           045-758-1780  
Fax:           045-758-1771  
作成者   近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社  
技術サービスグループ  
横浜市磯子区新磯子町 27-7  
Tel:           045-758-1810  
Fax:           045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。